

自然とふれあう緑の水族館



大水槽のトンネルを通れば海中散歩をしている気分

FIGHT10

福島県

環境水族館 アquamarin Fukushima

寒流の親潮と暖流の黒潮がであう、福島県沖の「潮目の海」をテーマにした水族館です。太陽光が降り注ぐ館内では、植物も展示し、生き物が生息する環境を丸ごと再現しています。裸足になって生き物と触れ合える世界最大級のタッチプール「蛇の目ビーチ」もあり、様々な体験ができるのも魅力です。



海辺の自然を再現した「蛇の目ビーチ」と淡水のビオトープ「BIOBIO かっぱの里」

DATA

福島県いわき市小名浜字辰巳町 50

☎0246-73-2525 〔休〕年中無休

〔営〕 9:00 ~ 17:30 (3/21 ~ 11/30)

9:00 ~ 17:00 (12/1 ~ 3/20)

※入館は閉館の1時間前まで

※GW・夏季・クリスマスは延長あり

〔交〕 常磐自動車道いわき湯本から 18km20 分

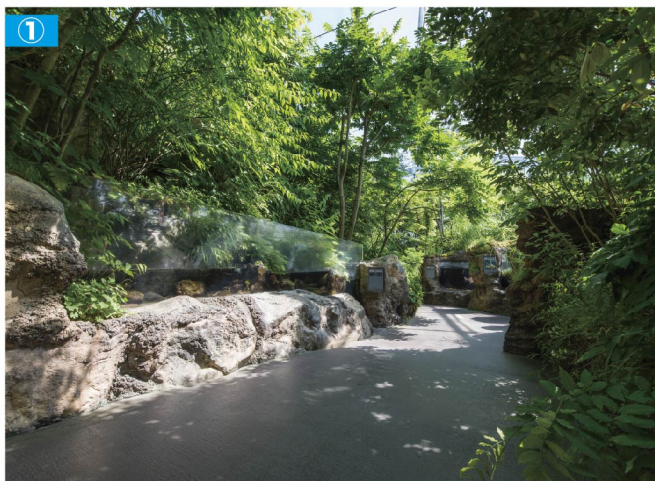
JR 常磐線泉駅下車 新常磐交通バス小名浜・江名行きで 15 分

「イオンモールいわき小名浜」下車や 5 分、「支所入口」下車徒歩 10 分

〔HP〕 <https://www.aquamarine.or.jp>

入館料	
一般	1,850 円
小～高校生	900 円
未就学児	無 料



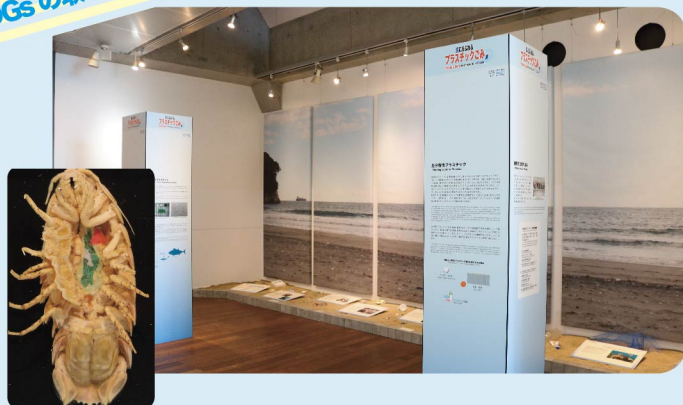


① ふくしまの川と沿岸コーナーでは、福島県内の川の上流域から海岸までを、自然光を取り入れた環境下で植物とともに展示しています。② サンゴ礁の海コーナーは、美しく群れをなすキンメドキや、砂の中から顔を出すチンアナゴなどがを展示しています。アクアマリンふくしまでも特に人気の水槽です。



③ アクアマリンで一番大きなトドのイチロー。エサの時間の前は、イチローの大きな声が外まで響き渡ります。④ パンダのような模様のクラカケアザラシを展示しているのは当館だけ。暑さが苦手なため秋～春の限定展示。⑤ ユーシアカワウソは夜行性のため普段は寝てばかりいますが、エサの時間は元気に泳ぐ姿が見られます。

SDGsの取り組み



アクアマリンふくしまでは、環境水族館として海洋プラスチックごみ問題に取り組んでいます。

「海にあふれるプラスチックごみ」コーナーでは、海岸を模した砂地に、いわきの海岸に流れ着いたプラスチックごみや、日本からカナダに流れ着いたプラスチックごみ、いわき沖で採集された胃の中にプラスチックごみがあるグソクムシの標本を展示し、私たちがこの問題についてこれからどうすべきなのかを考える場を提供しています。また、地元でごみ拾いをしている団体や個人とのネットワークを構築する活動も始めています。

ピックアップ



どんべあいす

アクアマリンふくしまでは、開館当初よりシーラカンスの調査、研究を行っています。これにちなみ、ミュージアムショップでは、シーラカンスの形をしたアイス最中「どんべあいす」を販売中。商品名はシーラカンスが生息するアフリカのコモロ諸島での呼び名「ゴンベッサ」に由来します。最中の金型の原型は館長が作成したオリジナル商品です。